



佐藤 正 議員



佐藤成子 議員

# すこやかな住みよい町への取り組みは

## 町長——協働のまちづくりの理念を基本とする等努力していく

**議員** 空き家対策条例設定後の取り組みは。  
**町長** 本年6月に「真室川町空き家等の適正管理に関する条例」を制定し、適正に管理されていない空き家の実態調査を行い、必要に応じ、助言・指導・勧告・命令・公表を実施していく。

11月に実態調査を行い、緊急度の高い危険な18件には、所有者・管理者に対し12月初めに「空き家等の適正管理に関する指導書」を送付し、16件には、危険防止のため計画的な除雪等の実施を指導した。

また、中心商店街活性化事業として、空き店舗利用事業者に改修費等の2分の1、上限150万円を補助する制度を実施して、商店街の活性化を図りたい。

空き家は個人、又は法人の資産、管理下にあり、強制的な行政執行は困難だが、危険物件の放置は住民にとって解決困難な課題であることから、実

**議員** 冬期間の廃校舎の維持管理状況は。  
**教育長** 開校時と同様に雪囲い、水道の凍結防止策を講じ、定期的あるいは緊急時に施設点検を実施している。地域の方々にも情報提供等の協力を仰いでいる。屋根の雪降しや雪庇処理等、駐車場の除排雪についても実施していく。

**議員** 公共施設利活用検討委員会の設置と閉校施設の取組状況は。

設から集会議能とスポーツ機能を移し、文化資料館的な機能を併設した複合施設としての利活用を行う。

旧大滝小学校については、町の災害支援助物資保管庫として校舎の一部を使用している。



空き家解体

態調査を行い、危険物件については指導等を強化していく。

**教育長** 行政サービス水準の維持と公平性の確保等をめざす。

教育委員会関係施設については、旧平枝小学校は、近隣の防雪管理センター内の消防設備保管機能をふるさと伝承館に移す。旧差首鍋小学校は、近隣の町施設から集会議能とスポーツ機能を移し、文化資料館的な機能を併設した複合施設としての利活用を行う。



旧平枝小学校

# ●新「子ども・子育てシステム」●橋の安全性

## ●新「子ども・子育てシステム」●橋の安全性

町長——策定、採択に向けた取り組みを展開していく  
 教育長——生徒数の減少により非常に困難



たんぼ子ども園お楽しみ会

**議員** 新「子ども・子育てシステム」県、国の動向は。  
**町長** 国では平成25年に「子ども・子育て会議」を設置し、基本指針や基本計画、各種事業の要綱などを検討している。都道府県並びに市町村では、平成25年度に子ども・子育て会議等で、住民ニーズを踏まえた上で、「市町村・都道府県子ども・子育て支援計画」を策定することが求められている。

**議員** 今後の町の動向・対策は。  
**町長** 真室川町地域福祉計画推進委員会・次世代育成部会を「市町村子ども・子育て会議」に準ずるものとし、各層の意見を踏まえた「子ども・子育て支援計画」の策定を

目指したい。具体的な施策の検討は国や県の計画が示される中で順次進めていきたい。

**議員** 町内に橋は何カ所あるか。なかでも特に老朽化している橋は何カ所あるのか。

在保有している橋梁数は110となっている。  
 1カ所目は町道新及位中ノ股線の小六郎沢橋。  
 2カ所目は町道八敷代清水線に架かる吊り橋である清水橋。

**議員** 今年4月に真室川バレーボールスポーツ

少年団が発足し、小学生の競技人口が、真室川小学校、あさひ小学校、合わせて、17人と、増加している状況にある。  
 平成22年度に廃止となった真室川中学校のバレーボール部を復活させるには、

あるのか。  
**町長** 平成23年度に実施した用水路整備により、矢の沢3号線と矢の沢4号線が橋長2メートル以下となつたため、この2つを管理橋梁数から除くと現在保有している橋梁数は110となっている。  
 1カ所目は町道新及位中ノ股線の小六郎沢橋。  
 2カ所目は町道八敷代清水線に架かる吊り橋である清水橋。

3カ所目は町道大池谷地ノ沢線に架かる木橋谷地ノ沢4号橋。  
 4カ所目は町道新及位に架かる万代橋のコンクリート舗装面である。いずれも改修工事を行っているところである。

**議員** 田代橋について。  
**町長** 修繕計画に取り組まれている橋であり、県が定めている緊急輸送路線でもある。主要地方道真室川鮭川線の一部代替え路線になりうる橋である。修繕で耐え得るものかも精査し、来年度より架け替えを前提とした予算調査を行い、平成26年度から社会資本整備総合交付金事業の採択に向けた取り組みを展開していく。

こころが聞きたい！